

Q. 3号機の冷却効率を上げるための最優先の注水ラインは炉心スプレイ系という理解でよいか。

A. 現場で作業ができるかどうかまだ分からないので、現時点で最優先ということではないが、炉心の上部から直接水を入れる形になるので、給水系の配管から入れるよりは効率的だろうと判断している。

Q. マスクを付け忘れた作業員は、14時30分に免震重要棟を出発して同僚を送った後バッテリーを充電してゴミを捨てて15分で戻ったとのことだが、バッテリーの充電作業は15分以内で本当にできたのか。

A. 乗っていた車のバッテリーが上がったので、エンジンをかけて帰ってきただけであり、短時間での作業であった。

Q. 3号機原子炉建屋調査について、2階、3階に作業員が入るのは初めてということか。

A. その通り。

Q. 作業予定は11時頃から開始ということか。

A. 正確には11時半から13時ということで作業計画は出ているが、多少前後するかもしれない。

Q. Quinceによる線量測定の結果、炉心スプレイ系の弁、補給水の弁が設置されている場所の線量が48、45mSvということだが、遮へいをすれば作業ができる線量なのか。また、この高線量の原因として考えられることは。

A. 48、45mSvであるので作業をするには遮へいが必要と考えている。3号機は他の号機と比較して線量が高いが、はっきりとした原因はわかっていない。

Q. 資産売却の件で KDDI やリクルート株、アット東京の売却等を検討しており、資産売却による資金調達も反映させた事業計画を9月にも策定するとの報道があるが、どのような内容で、いつ頃までに策定する予定なのか。また、現時点での内部の検討状況や政府への報告状況について教えてほしい。

A. 弊社社長が会見時に申し上げた通り、東京電力としては合理化を進めるために電気事業そのものに必要不可欠な事業を除いて、原則売却する方向で進めている。ただし、現在保有している不動産、株式の売却、また子会社のあらゆる資産のスリム化については検討を進めている段階であり、具体的な案件をどうするかについては回答を差し控えさせていただく。なお、資産査定を受けているが、こちらに関しては政府の判断になると考えている。

Q. 具体的な案件の回答を控えるということだが、どのくらいの段階で計画について発表するのか。今朝方、広報の方に聞いた話では四半期ごとの決算で盛り込んでいく可能性もあると言っていた。たとえば交渉中のものは、先方との契約が間違いなくなった段階で盛り込むのか、それとも東電の中で資産売却の予定案が固まった段階で公表するのか教えてほしい。

A. 資産の売却の状況については四半期決算の発表ごとにとりまとめた上で示させてい

ただきたい。こういった段階で公表するかどうか、あるいは交渉中の案件をどの程度公表するかについては未定。

Q. 現状放出されている毎時 10 億ベクレルの放射性物質については計算根拠を提示頂くことになっていたが、現状の処理状況はどうか。

A. 7月29日の会見で配布済。

Q. シルトフェンスの開閉作業を本日実施するとのことだが、シルトフェンスの放射性物質の吸着効果を確認するために、開閉に併せてシルトフェンスそのものの線量を測定する予定はあるのか。

A. シルトフェンスはいわゆるシートであり、シートで仕切ることで水の行き来をなくすものである。したがって、何かをこしとるフィルターのようなものでもない。

Q. 東京電力として、1Fから出た放射性物質の総量の発表についてどのような準備状況か。今後いつ頃出す予定なのか。

A. 気体については現在評価を続けている段階なので、目処がたてば正確に出せると思う。海水については低濃度の汚染水を1回、高濃度の汚染水を2回放出している。

全体の量の見通しということになると、基本的には3月の地震発災一週間後に出た10の17乗ベクレルという数値が支配的な見方になっている。現在1時間あたり10億ベクレルという評価をしているが、1年間の積算としても10の18乗ベクレルであり、震災直後に比べると4桁下回るため支配的な要因にならないと考えている。

Q. ある一定の目処とはいつ頃か。事故後4ヶ月経過しており、その間準備中と言っているが。

A. 原子炉建屋からどのくらい放出されているかについては、正確な評価をしたいと考えている。1時間あたり10億ベクレルと評価したが、この値も西門で観測しているダストが全て原子炉から飛んできているという保守的な評価をしたものになるので、もう少し原子炉建屋から直接採取したデータやT-Hawkによるデータにより評価する予定である。

Q. 西門では継続してダストを測っているので今まで出た総量として発表する分には問題ないと思う。どのくらい放出されたのかというおおよその数値については計算で出せると思うが、東電として整理して公表する予定はないのか。

A. 計算自体は出来ると思うが、不確実な数字を出しても意味がないと考えている。

Q. 4月から6月までの第一四半期決算の発表日程は決まっているのか。

A. 現時点で決まっていない。

Q. 第一四半期決算で資産売却についても公表するとのことだが、4月から6月時点で決まっているものがあれば発表するという理解でよいか。

A. 公表できるものについてはさせていただくが、公表の仕方として案件毎に公表できるのか、総額のみを公表するかについては決まっていない。

Q. 本日実施予定の3号機建屋内部での調査は、3チームが同時に建屋に入域するのか。

A. ほぼ同時に入る予定。

Q. 原子炉建屋内での作業員確認ルートは、1階は2ルート、2階は1ルートでという理解でよいか。

A. 1階の北東から入って、2、3階に上るチームと1階を確認するチームに分かれて調査を行う。1階ではジェットポンプ計装配管設置箇所を確認する予定。

Q. 原子炉建屋1階の調査は、1チームで2箇所みるという理解でよいか。

A. 5人が一緒に入域するのか、2チームに分かれて入域するかについては確認させていただく。

Q. 3階はクインズによる確認ができていないが、実際に作業員が線量確認を行う方法についてどのような計画をたてているのか。

A. 棒の先に線量計をつけて探りながら確認することになると思うが、詳細については確認させていただく。

Q. 建屋2階の線量は50~70mSvであるが、3階も同様の線量ではないかと考えているのか。

A. おそらく同程度ではないかと考えているが、急に線量が増える可能性もあり、遮へいについては注意が必要と考えている。

Q. 線量源はどこにあると考えているのか。

A. 全体的に線量が高く、どこが線源かについては不明。

Q. 建屋全体が汚染されている場合、どのような原因が考えられるのか。

A. 現時点では不明。

Q. 今後、早くていつ注水ラインを切り替えることができるのか。

A. 本日現場を確認した後に評価を行い、見通しを立てることになるので、現時点では未定である。

Q. 大型データセンターや保有株を売却する見通しとの報道があるが、事実関係や検討状況について教えて欲しい。

A. 保有する資産の中で電気事業に不可欠なもの以外は売却する方針であるが、具体的な案件等についての回答は差し控えていただく。

<メガフロートへの移送停止に関する報告>

6号機仮設タンクからメガフロートへの移送を本日10時より移送を開始しているが、10時45分に停止している。理由はポンプの不具合によるもの。詳細については判明次第、1階記者室にて公表させていただく。

<メガフロートへの移送停止に関する質疑>

Q. 水漏れはあるのか。

A. 現在分かっているのはメカシールからリークしているという情報のみである。実際に漏れているのかどうかについては不明。

Q. リークが発生している場所は。

A. 現時点では不明。

Q. 仮設タンクに溜まっている溜まり水の濃度はどの程度か。

A. 水中の濃度限度をわずかに上回る程度。マンガン54、セシウムも濃度限度を下回る程度。

以上